



いしのまき



▲石巻高校から借り受けた聖観音立像も展示された



▲博物館公開初日に高橋英吉の彫像に見入る人たち

文化、歴史 の拠点完成



▲テープカットで開館を祝った

石巻市博物館が開館

高橋英吉の「海の三部作」や 毛利コレクションなど収蔵



▲人権派弁護士として有名な蛇田生まれの布施辰治ら石巻の先人コーナーも



▲「江島サツパ」と言われる木造船は、女川町江島でアワビ漁などに使われた



石巻市イメージキャラクター

マルホンまきあーとテラス内に完成した石巻市博物館の開館記念式典が11月1日に行われました。石巻市出身の彫刻家、高橋英吉の代表作「海の三部作」や毛利コレクションなど郷土が誇る逸品が、東日本大震災を経てようやく石巻に帰ってきました。3日のオープン初日は、終日無料で公開され、約1,100人が訪れました。

まきあーとテラスは震災で被災した石巻文化センター、石巻市民会館に代わる施設として誕生しました。博物館は常設展示室と企画展示室・資料閲覧室で構成されます。料金設定は別々ですが、企画展示室のチケットがあれば常設展も入場できます。新たな文化の拠点、観光資源として期待されています。